

岡山県知事
伊原木隆太様

パナソニック岡山工場の閉鎖問題についての申し入れ

2014年1月21日

日本共産党岡山県議団

団長 森脇久紀

氏平三穂子

日本共産党備前市議団

中西裕康

川崎輝通

貴職におかれましては、県民福祉の向上のため、ご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、(株) パナソニックは先月、岡山工場の本年3月末閉鎖を発表しました。これに対して、パナソニックで働く労働者とその家族、工場がある備前市友延の地域などから不安の声が広がっています。吉村武司備前市長も「大手企業の工場閉鎖は地域経済や雇用の面で大きな打撃となり誠に残念」というコメントを発表しています。

こうした事態のなか、県として、労働者を保護する立場から、また備前市の地域経済を守り、地域防災の視点からもパナソニック及び労働局に対して働きかけをしていただくよう以下の点を要請するものです。

記

1. パナソニック岡山工場の閉鎖計画を見直すよう要請すること

- ① 備前工場で働く労働者の多くは40代から50代で、その家族にとって「家計の中心」を担っています。その雇用の場が失われることは、労働者とその家族にとって死活に関わる問題です。
- ② パナソニック岡山工場がある備前地域は、岡山県下でも最も雇用情勢が悪い地域です。パナソニック岡山工場の閉鎖は地域経済にとっても甚大な被害を与えるものです。(資料)岡山労働局調べの直近の有効求人倍率は、岡山県平均が1.36、備前を含む和气地域で1.01となっており、全県で最低となっています。

2. 工場閉鎖になり、労働者が異動する場合には、労働者本人の意向をよく聞き、「労働者の人権保障」立場からパナソニック、および労働局に働きかけること。

- ① 昨年20日の記者発表の際、会社は「異動先は本人の意向を聞きながら労使で協議する」としています。

しかし、現実にはこれまで(株)パナソニックが、鳥取市の三洋電機・パナソニックなど各地で行ってきたことの中には、労働者に退職を強要したり、育児・介護休業法

に定められた「家庭的配慮」が必要なシングルマザーにも異動を強制するなど、違法行為が数多く見受けられます。岡山工場でこのような違法行為が起きないように強く要請すること。

②異動については、富山県の魚津工場を中心に配置転換を進めるとされていますが、情報では魚津工場を含めた同県砺波市、新潟県妙高市の「北陸3工場」は今年度内にもイスラエルに本社を置く半導体受託製造会社タワージャズに売却されるということであり、そのことを労働者へきちんと説明するよう要請すること。

- 3、岡山工場は、敷地面積5万3400平方メートルあり、近隣の水田を借り受けた駐車場を含めると広大な面積を占めています。水田の転用で、保水力の低下が著しく、最近でも3回の水害被害が起きています。地域の安全性の確保の観点からも、跡地利用について責任を持った対応をパナソニックに要請すること。

以上